

事業に関する報告書

令和4年度の本会会務の運営並びにその事業の実施状況は、その都度「愛知医報」等でご報告をいたしました。

その大要は次の通りであります。

○ 庶務に関する事項

1. 会員の異動

入 会	999名（県内異動も含む）
退 会	685名（ 〃 ）
死 亡	112名

現在会員数 10,595名〈別表1 参照〉

（令和5年3月31日現在）

2. 文書の収受、発送

収 受	19,672件
発 送	433,555件

3. 会員の栄誉

(1) 令和4年春の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り栄誉をたたえました。

旭日双光章	吉 田 雄 一 殿
瑞宝双光章	矢 藤 仁 久 殿
藍 綬 褒 章	宇佐美 郁 治 殿
藍 綬 褒 章	磯 村 豊 司 殿

令和4年秋の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り栄誉をたたえました。

瑞宝小綬章	細 井 延 行 殿
瑞宝双光章	西 脇 孝 殿
藍 綬 褒 章	河 野 弘 殿

(2) 令和4年愛知県医師会表彰規程による被表彰会員に記念品を贈り表彰いたしました。

千種区	鈴森謙次殿
中村区	鵜飼泰光殿
中川区	小出敬之殿
緑区	佐藤弘男殿
一宮市	櫻井義也殿
一宮市	清水智雄殿
春日井市	松崎安孝殿
東海市	小出詠子殿
西名古屋	加藤裕殿
海部	羽賀達也殿
豊田加茂	近藤栄治殿
安城市	浦田士郎殿
安城市	野村俊之殿

(3) 令和4年難病の学術的研究に功績のあった会員に記念品を贈り表彰いたしました。

愛知医科大学

循環器内科 教授

天野哲也殿

名古屋市立大学医学研究科

リハビリテーション医学分野 教授

植木美乃殿

藤田医科大学

皮膚科学 教授

杉浦一充殿

名古屋大学医学部附属病院

病院教授

西田佳弘殿

名古屋大学医学部附属病院

輸血部 教授

松下正殿

4. 物故会員

本年度（令和4年4月～令和5年3月届出分）の物故会員は112名でありました。〈別表2参照〉
謹んでご冥福をお祈りいたします。

○ 事業に関する事項

1. 会 議

(1) 代議員会 3回

- ◆ 愛知県医師会第191回（臨時）代議員会を令和4年5月14日(土)愛知県医師会館において開催し、次の選挙、議事を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、感染症対策として愛知県医師会館9階大講堂と8階会議室の2会場に分けて開催しました。

選 挙

- (1) 議長、副議長
- (2) 理事（会長候補者、副会長候補者、理事候補者）
- (3) 監事
- (4) 裁定委員
- (5) 日本医師会代議員、同予備代議員

議 事

- 第1号議案 次期役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員の就任日に関する件
- 第2号議案 日本医師会代議員、同予備代議員選出及び就任日に関する件

- ◆ 愛知県医師会第192回（定例）代議員会を令和4年6月11日(土)愛知県医師会館において開催し、次の議事を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、感染症対策として愛知県医師会館9階大講堂と8階会議室の2会場に分けて開催しました。

報 告

- (1) 令和3年度事業報告

議 事

- 第1号議案 令和3年度決算に関し承認を求めるの件
- 第2号議案 愛知県医師会役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員選任の件
- 第3号議案 愛知県医師会役員（会長、副会長）選定の件
- 第4号議案 愛知県医師会館建設に関し承認を求めるの件

協 議

- ◆ 愛知県医師会第193回（臨時）代議員会を令和5年3月18日(土)愛知県医師会館において開催し、次の議事を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考

慮し、感染症対策として愛知県医師会館 9 階大講堂と 8 階会議室の 2 会場に分けて開催しました。

報 告

- (1) 令和 5 年度事業計画報告
- (2) 令和 5 年度予算報告
- (3) 令和 4 年度愛知県医師会館建替計画の進捗状況報告

議 事

- | | |
|---------|----------------------------------|
| 第 1 号議案 | 令和 5 年度会費の賦課徴収に関する件 |
| 第 2 号議案 | 令和 5 年度会費減免申請に関する件 |
| 第 3 号議案 | 令和 5 年度入会金の賦課徴収に関する件 |
| 第 4 号議案 | 公益社団法人愛知県医師会選挙規則の一部改正に関し承認を求めるの件 |

(2) 理事会 37回

- ◆ 原則毎月第 1 木曜日を除く第 2～第 5 木曜日に開催。

内容については、その都度、愛知医報・ホームページ(情報公開)に掲載いたしました。

(3) 各種委員会・部会・協議会・その他

・医学教育の向上

「現代医学」誌編集委員会 (Web会議 2回)	2回
「現代医学」誌座談会	1回
指導医のための教育ワークショップ	1回
治験審査会	12回
倫理委員会 (書面開催 1回)	2回
臨床研究の倫理に関する研修会	1回

・医師の生涯教育

生涯教育委員会 (Web会議 1回)	1回
--------------------	----

・医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

(調査室)

調査室委員会 (Web会議 18回)	18回
調査室委員会勉強会	1回
保険医協会との懇談会	6回

(愛知県医師会地域医療政策研究機構)

愛知県医師会地域医療政策研究委員会	6回
地域医療構想に関する研修会	1回
・公衆衛生の指導啓発	
健康教育委員会（Web会議 4回）	4回
環境衛生委員会（Web会議 4回）	4回
感染症及び結核講演会	1回
感染症・予防接種研修会	1回
愛知県広域予防接種事業運営委員会（Web会議 4回）	4回
・地域医療の推進発展	
四大学連絡協議会（Web会議 1回）	1回
愛知県地域医療構想推進委員会	2回
地域医療構想の進め方に関する研修会	3回
難治性疾患委員会（Web会議 1回）	1回
難病講習会	1回
難病講演会	1回
警察部会幹事会	1回
麻薬等に関する懇談会	1回
勤務医部会幹事会	6回
勤務医部会嘱託幹事会	3回
全国医師会勤務医部会連絡協議会	1回
愛知県糖尿病対策推進会議（Web会議 1回）	1回
愛知県糖尿病対策推進会議 学術講演会（Web会議 1回）	1回
小児在宅医療推進企画委員会（Web会議 3回）	3回
小児在宅死亡例検討ワーキンググループ（Web会議 2回）	2回
あいち小児在宅医療実技講習会	1回
東三河小児在宅医療講習会	1回
尾張北部小児在宅医療講習会	1回
せん妄対策研修会	2回
摂食・嚥下機能支援に関する研修会	3回
在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議（Web会議 2回）	2回
・救急医療・災害医療対策	
救急委員会（Web会議 5回）	9回
愛知県医師会無線システム災害想定訓練	9回

救急医療・災害医療シンポジウム	1回
愛知県救急医療推進大会	1回
災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	1回
愛知県医師会ICLS研修会	1回
愛知県災害医療コーディネート研修	2回
愛知県医師会PTLS講習会	1回
いざという時のための実技講習会	3回
小児救急に関する研修会	3回
こどもの命を守るために事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー	3回
小児救急連携体制協議会	3回
・地域保健の向上	
産業保健部会幹事会（Web会議 5回）	5回
医師会主導による産業医紹介事業者を活用したモデル事業に関する説明会 （Web会議 1回）	1回
産業医活動支援研修事業に伴う産業医研修会	5回
学校保健部会幹事会（Web会議 4回）	4回
学校保健部会学校健診委員会（Web会議 3回）	3回
学校保健部会学校健診委員会（小）委員会（Web会議 2回）	2回
学校保健健診懇談会	1回
学校保健シンポジウム	1回
心電図精度管理調査解析検討会	1回
令和5年度定期健康診断における精度管理説明会	1回
小児CKD（慢性腎臓病）対策講習会	1回
母体保護法指定医師審査委員会	6回
母体保護法指定医師講習会（ビデオ講習会 1回）	3回
・医療保険・介護保険の充実	
（医療保険関連）	
社保集団指導講習会並びに医療安全説明会	7回
社保指導委員会（Web会議 5回）	5回
全国健康保険協会愛知支部と愛知県医師会との意見交換会	1回
（介護保険関連）	
地域医療介護委員会（Web会議 5回）	6回
保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム	1回

認知症地域医療研修検討委員会（Web会議 5回）	6回
医療従事者の認知症対応力向上研修	3回
かかりつけ医認知症対応力向上研修	2回
認知症サポート医フォローアップ研修	1回
認知症対応病院実地指導事前説明会	1回
認知症対応病院実地指導活動報告会	1回
・医療安全対策の推進	
医療安全対策委員会	12回
医療安全対策（小）委員会	3回
医療安全に関する講演会	1回
医療安全対策委員会勉強会	1回
県民のための医療安全講演会	1回
医療安全支援センター（苦情相談センター）委員会	12回
医療安全支援センター（苦情相談センター）小委員会	2回
医療安全支援センター（苦情相談センター）講演会	2回
医療安全支援センター（苦情相談センター）事例検討会	2回
愛知県医師会剖検システム運営協議会	1回
愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会	2回
愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会幹事会	2回
愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会幹事会マニュアル作成委員会	1回
医療事故調査制度に関する研修会	1回
医療事故調査制度における初期対応研修会	1回
医療事故調査制度コーディネーター養成研修会	1回
・医療施設の整備	
精度管理委員会（Web会議 2回）	2回
精度管理（小）委員会（Web会議 1回）	1回
精度管理研修会	1回
共同施設委員会（書面開催 1回）	1回
・会員の福祉の向上	
会員相談窓口事例検討会	2回
・医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動 （渉外）	
中部医師会連合常任委員会（Web会議 3回）	12回

中部医師会連合常任委員会懇談会	1回
中部医師会連合日医代議員協議会	2回
中部医師会連合委員総会	1回
中部医師会連合社会保険特別委員会 (Web会議 1回)	1回
中部医師会連合地域包括ケア特別委員会 (Web会議 1回)	2回
中部医師会連合感染症対策特別委員会 (Web会議 1回)	1回
中部医師会連合女性医師支援ドクターバンク連携事業中部ブロック会議	1回
中部医師会連合災害医療担当理事連絡協議会	1回
中部医師会連合共同利用施設連絡協議会	1回
関西医師会連合常任委員会 (書面開催 1回)	1回
(IT化対策)	
ホームページ・IT化対策委員会 (Web会議 4回)	4回
情報セキュリティ研修会 (Web会議 1回)	1回
(広報)	
広報委員会 (Web会議 11回)	11回
・医師・医療従事者対策	
(勤務環境改善支援)	
愛知県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 (書面開催 1回)	3回
医療機関に対する働き方改革セミナー (Web会議 2回)	5回
(医師確保対策事業の推進)	
男女共同参画委員会 (Web会議 6回)	6回
医学生、若手医師と地域医療を考える会 (Web会議 1回)	1回
(医療従事者対策)	
医療関連職検討委員会 (Web会議 2回)	2回
愛知県看護協会との懇談会	1回
学校法人電波学園あいちビジネス専門学校の日本医師会認定医療秘書養成に 関する運営委員会	1回
医療事務員講習会	15回
医療事務員資格認定試験	1回
・会務運営・総務・財務	
県下医師会長等協議会	7回
議事運営委員会 (Web会議 2回)	3回
人事委員会	3回

選挙管理委員会	2回
定款諸規程等検討委員会（書面開催 1回）	1回
監事会	1回
臨時監事会	1回
・その他	
愛知県医師会館建設委員会	3回
愛知県医師会館建設小委員会	22回

2. 業 務

(1) 諸調査の実施

- 1) 救急患者実態調査
- 2) 休日診療所における救急患者実態調査
- 3) 4月29日（金・祝）～5月5日（木・祝）における休日急病診療所の実態調査
- 4) 令和4年7月16日（土）～18日（月・祝）並びに令和4年2月11日（金・祝）～13日（日）における休日急病診療所の実態調査
- 5) 令和4年度お盆期間中（8月11日（木・祝）～15日（月））における休日急病診療所の実態調査
- 6) 令和4年度年末年始（令和4年12月29日（木）～令和5年1月3日（火））における休日急病診療所の実態調査
- 7) 急性期脳卒中に関するアンケート調査
- 8) 急性心筋梗塞に関するアンケート調査
- 9) 熱傷入院患者取扱実績報告
- 10) 中部7県・大都府県における個別指導等の状況に関するアンケート調査
- 11) 中部7県における個別指導の実施体制に関するアンケート調査
- 12) 在宅医療・介護連携推進事業の運営状況に係るアンケート調査
- 13) 在宅医療の提供と医療・介護連携に関する実態調査
- 14) 医療事故調査・支援センターへの報告に関するアンケート
- 15) 小児時間外救急の実態調査
- 16) 気管支喘息発作に関するアンケート調査
- 17) アナフィラキシーに関するアンケート調査
- 18) 愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査
- 19) 学校医・園医報酬調査
- 20) 医師会主導による産業医紹介事業者を活用したモデル事業に関する会員への意向調査
- 21) サーバーの管理状況等に関する調査

- 22) 男女共同参画に関する委員会等設置状況調査
- 23) 分娩を取り扱う産科診療所等の医療従事者新型コロナウイルス既往感染抗体保有調査
- 24) 令和5年5月8日以降の新型コロナウイルス感染症診療体制に関するアンケート調査

(2) 会報・医学雑誌その他の発行

- ・愛知医報
- ・「現代医学」誌 69巻1号・69巻2号（Web版・オープンジャーナル）

(3) 医学教育の向上

・現代医学

「現代医学」誌編集委員会において、「現代医学」誌69巻1号（令和4年6月24日発行）及び69巻2号（令和4年12月26日発行）の掲載内容を検討いたしました。また、69巻1号及び69巻2号は、オープンジャーナルとして本会ホームページ「医師の皆さまへ」において広く公開いたしました。

・スポーツ医学

- 1) 健康スポーツ医の養成とその資質向上を通して地域保健活動の一環である健康スポーツ医活動の推進を図るために、日本医師会が定めた講習科目に基づく健康スポーツ医学講習会を修了したと認められる医師に、日本医師会認定健康スポーツ医の認定証が交付されます。本会ではその新規・更新に係る手続きを行い、新規14名、更新100名が認定を受けました。
- 2) 各団体が実施する研修会において、日本医師会認定健康スポーツ医制度における健康スポーツ医学再研修会としての承認申請の手続きを行い、3件の認定を受けました。
- 3) 本会主催の日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会を本会館9階大講堂において2回開催いたしました。また、各研修会の参加者には受講証明書を交付いたしました。第1回は12月23日(金)に開催し51名、第2回は2月2日(木)に開催し25名の参加者がありました。
- 4) 日本医師会運動・健康スポーツ医学委員会に委員として参加し、会長諮問事項「健康スポーツ医学実践ガイド」と「運動・スポーツ関連資源マップ作成」を通じて促進する地域の多職種連携」について検討・協議いたしました。

・治験推進事業

- 1) 先駆的な新薬開発に携わるという学術的な意義を会員に理解していただくことを目的として、臨床試験及び製造販売後臨床試験等の実施ネットワークを構築かつ推進するため、治験依頼者からの治験相談、治験実施医療機関の登録及び環境整備の支援を行いました。

- 2) 主として製薬会社主導の治験審査を行っており、会員治験実施医療機関が治験を安全かつスムーズに行えるよう、治験審査会を開催いたしました。

・倫理委員会

- 1) 5月18日(水)に第1回倫理委員会を開催し、臨床研究の倫理に関する研修会について協議し、開催することが決定いたしました。また、倫理委員会承認後の研究について継続状況の確認、変更のあった研究については審査を行い、承認された。第2回倫理委員会を書面にて開催し、研修会の内容について協議・検討いたしました。
- 2) 臨床研究の倫理に関する研修会を1月21日(土)に愛知県医師会館9階大講堂にて開催し、37名の参加者がありました。

(4) 医師の生涯教育

・生涯教育

- 1) 「日本医師会生涯教育講座」を8月～11月に7回開催いたしました。(別表3参照)
- 2) 令和4年度日本医師会生涯教育制度の単位申請にあたり、審査及び登録を行い、主催者から提出される報告書を基に、日本医師会全国医師会研修管理システムに受講実績を登録いたしました。

(5) 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

・調査室

- 1) マスメディア・業界誌はもとより、日医・関係団体、国会・地方議員、行政、有識者等の幅広い人脈を活かし、医療問題に限らずそれに影響する国内外の政治情勢、経済動向などに関する情報を収集し、議論を重ねました。その上で、あるべき医療政策の実現に向けて必要な提言・要望を行い、安心・安全な医療提供体制を維持する上で、健全な医業経営に向けた環境整備が必要であるとの考えのもと、関係法令の解釈、診療報酬改定や税制改正に伴う影響等についても検証いたしました。
- 2) 日本医師会医業税制検討委員会に委員として参加し、税制要望、控除対象外消費税問題等について検討・協議いたしました。
- 3) 日本医師会医療経営検討委員会に委員として参加し、会長諮問事項「医療機関の医業経営における課題への対応」について検討・協議いたしました。
- 4) 日本医師会医事法関係検討委員会に委員として参加し、災害時のトリアージに関する法的諸問題について検討・協議いたしました。
- 5) 愛知医報に医療関係制度を始め、近年注目される事項についての最新知見を調査室だよりとして掲載し、会員へ周知いたしました。

6) 愛知県医師会調査室委員会勉強会として2月5日(日)に「複眼で読む2040年に向けての医療・社会保障」をテーマに日本福祉大学名誉教授の二木 立先生にご講演いただき、48名の参加者がありました。

・愛知県医師会地域医療政策研究機構

6回委員会を開催し、新型コロナウイルス感染症・医療計画・地域医療構想・働き方改革・医師偏在対策等についての現状把握、今後のあり方や課題の解決方法の調査研究に努めました。また、地域医療構想に関する研修会として9月24日(土)に「地域医療構想の成果と今後の行方」と題して東海北陸厚生局長 佐々木 健先生にご講演いただき、69名の参加者がありました。

(6) 公衆衛生の指導啓発

・健康教育

- 1) 健康教育委員会では、健康教育講座、あいち健康ナビの運営や広報活動等について検討・協議いたしました。
- 2) 県民を対象とした健康教育講座を各分科医会の協力のもとビデオ講座として4回、また8月より従来の来場型講座を8回開催し、全ての講座の内容をあいち健康ナビにて配信いたしました。(別表4参照)
- 3) 県民向けに「誰もが・いつでも・どこでも」正しい健康情報を手に入れられるよう、愛知県の委託事業として、健康情報の総合サイト「あいち健康ナビ」を運用しております。セミナー、イベント情報の充実を図るため、県内の病院等、100機関(3月31日現在)に本サイトよりセミナーやイベント情報を発信する投稿団体としてご登録いただいております。

・環境衛生

- 1) 感染症、予防接種、環境保健、結核等対策につきまして、県当局と連携し、地域医師会への情報提供を行いました。
- 2) 愛知県保健医療局健康医務部健康対策課、感染症対策局感染症対策課が主催する関係会議へ出席し、各種事項について検討・協議いたしました。
- 3) 結核・感染症対策講習事業として、名古屋市医師会・知多郡医師会・岡崎市医師会に事業を委託し、愛知県医師会でも10月29日(土)に令和4年度感染症及び結核講演会を開催し、122名の参加者がありました。
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団の委託研修として、3月4日(土)に感染症・予防接種研修会を開催し95名の参加者がありました。
- 5) 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・新型コロナウイルス感染症の行政検査の集合契約について、4月より改めて集合契約を締結しました。3月末現在で2,825医療機関が参加しております。
- ・愛知県が設置している「軽症者等が療養を行う宿泊施設」のオンコール体制に、本会役員及び名古屋市医師会が分担をして延べ155名の医師が対応いたしました。
- ・愛知県および政令市・中核市が4月より開始した「新型コロナウイルス感染症自宅療養者等への医療提供事業」において協力可能医療機関の登録手続きの窓口として対応しております。
- ・愛知県が開催した、愛知県新型コロナウイルス感染症対策本部会議、愛知県ワクチン接種推進本部会議に本会より出席いたしました。
- ・日本医師会が開催する、都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会（TV会議）に本会役員が出席し、また、本会Web会議システムを利用して地区医師会へ配信いたしました。
- ・新型コロナウイルスの既往感染抗体を保有している医療従事者を明らかにし、感染リスクがより低い医療従事者が感染妊婦に対処できるよう医療機関の参考としていただくため、分娩を取り扱う産科診療所等の医療従事者を対象に既往感染抗体保有調査を実施し、64医療機関、1,302名にご協力をいただきました。
- ・令和5年5月8日以降の新型コロナウイルス感染症診療体制に関するアンケート調査を実施し、病院及び診療所における今後の診療体制について意向の把握を行いました。
- ・広域予防接種事業
 - 1) 愛知県広域予防接種事業運営委員会では、間違い報告への対応、今後の対象ワクチン、各種検討事項等について検討・協議いたしました。
 - 2) 令和5年度の本事業への協力依頼を2,763医療機関へ送付いたしました。
 - 3) 毎月20日に接種協力医療機関・医師名簿を更新し、愛知県に提出しています。また、課題や間違い、書類の返戻など各種事項に対し、講習会等を通じ、留意事項として伝達いたしました。
 - 4) 愛知県広域予防接種事業調整会議（書面開催）が開催され、「愛知県広域予防接種事業に係る運営要領」を改正し、広域予防接種事業の接種可能ワクチンにHPV9価ワクチンを追加いたしました。
 - 5) 接種協力医療機関は3月末現在で、2,629医療機関にご登録いただいております。

(7) 地域医療の推進発展

・地域医療構想

愛知県地域医療構想推進委員会を2回開催いたしました。第1回目を10月26日(水)に東京第

一ホテル錦にて開催し、行政より地域医療構想推進委員会の取組について、藤田医科大学副院長 岩田充永先生より～地域医療構想において大学病院は「最後の砦」たりうるか～と題し講演をいただき、各構想区域における地域医療の現状（地域医療構想推進委員会の進捗状況、新型コロナウイルス感染症の対応等）について議論いたしました。第2回目を3月27日(月)に東京第一ホテル錦にて開催し、地域医療構想アドバイザーの廣澤友也先生より地域医療構想の進め方に関する研修会について活動報告をいただき、三重大学医学部附属病院 感染制御部 教授・部長 田辺正樹先生より～医療計画と新興感染症対策～と題し講演をいただき、各構想区域における地域医療の現状について議論いたしました。また、各構想区域の地域医療構想推進委員会委員等を対象として研修会を以下のとおり開催いたしました。

地域医療構想の進め方に関する研修会

10月22日(土) JPタワー名古屋ホール&カンファレンス	参加者：31名
12月3日(土) TKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅前	参加者：33名
12月17日(土) ホテルアソシア豊橋	参加者：33名

・病診連携

地域医療支援病院の運営委員会や、大学の運営協議会等の委員として出席し、地域の病診連携の現状及びその問題点の把握に努めました。

・四大学連絡協議会

8月18日(木)に四大学の医学部長、病院長により、愛知県地域医療構想を協議することを目的にWeb会議にて開催いたしました。併せて、新型コロナウイルス感染症に対する大学の対応等についても協議いたしました。

・難治性疾患対策

- 1) 難病相談室の令和4年4月～令和5年3月の相談件数は1,900件で、月平均の相談件数は158件でした。〈別表5参照〉
- 2) 愛知県・名古屋市指定難病審査会は、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、令和4年4月～令和5年3月は持ち回りで審査を行いました。
- 3) 難病講習会を10月7日(金)、10月21日(金)、10月31日(月)に愛知県、名古屋市と共催にて開催し、計274名の参加者がありました。
- 4) 11月29日(火)に西保健センターにて開催された西区難病患者地域支援ネットワーク会議に講師を派遣いたしました。
- 5) 12月15日(木)に愛知県自治センターにて開催された令和4年度愛知県難病医療連絡協議会・連絡会（合同会議）に出席いたしました。
- 6) 1月12日(木)に西保健センターにて開催された神経難病患者のつどいに講師を派遣いたし

ました。

- 7) 1月13日(金)に名古屋市役所にてWeb会議システムを用いて開催された名古屋市難病保健活動研修に講師を派遣いたしました。
- 8) 2月3日(金)に豊橋保健所にて開催された令和4年度難病患者支援者研修会に講師を派遣いたしました。
- 9) 難病グループワーク(疾患別患者・家族のつどい)を以下のとおり開催いたしました。

2月3日(金) 障害年金勉強会①	参加者：8名
2月24日(金) 障害年金勉強会②	参加者：9名
- 10) 2月27日(月)に令和4年度難病講演会を開催いたしました。「災害時に在宅人工呼吸器装着患者が自宅避難生活を送るために」をテーマに、関西国際大学看護学科准教授今福恵子氏にご講演いただき、93名の参加者がありました。

・糖尿病対策

- 1) 「世界糖尿病デー」ブルーライトアップ(11月)事業の経費補助について、愛知県糖尿病対策推進会議が窓口となり実施団体を取り纏めて、世界糖尿病デー実行委員会への申請を行いました。
- 2) 11月25日(金)に令和4年度愛知県糖尿病対策推進会議を開催し、糖尿病対策におけるかかりつけ医機能の充実を図るために、愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会について検討いたしました。
- 3) 3月11日(土)に東別院会館東別院ホールにおいて令和4年度愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会を会場とWebのハイブリッド方式で開催し、会場参加84名、Web参加45名の計129名の参加者がありました。

・在宅医療

- 1) 在宅医療推進事業の一環として、せん妄対策研修会を開催し、10月2日(日)20名、11月12日(土)18名、計38名の参加がありました。また、摂食・嚥下機能支援に関する研修会を開催し、1月29日(日)46名、2月12日(日)53名、2月26日(日)62名、計161名の参加がありました。在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議の一環として、県内地域の医療介護連携担当実務者を対象に在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議を開催し、12月7日(水)68名、1月24日(火)40名、計108名の参加がありました。
- 2) 県下各地区医師会を対象に、6月に「在宅医療・介護連携推進事業の運営状況に係るアンケート調査」を行いました。
- 3) 愛知県より小児在宅医療普及推進事業を受託し、小児在宅医療推進企画委員会において、医師、医療従事者を対象とした研修を企画・立案し、医療的ケア児に対応できる人材を育成することで退院支援から生活の場における療養支援、急変時の対応など継続した小

児在宅医療連携体制の構築を図るため、下記講習会を開催いたしました。

9月3日(土)	東三河小児在宅医療講習会	参加者：57名
10月23日(日)	あいち小児在宅医療実技講習会	参加者：84名
2月4日(土)	尾張北部小児在宅医療講習会	参加者：87名

- 4) 在宅医療を受けていた小児の死亡例を評価・検討する場として、小児在宅医療推進企画委員会にワーキンググループを設置し、予防可能な小児死亡を減らすことを目的として、死因の調査を行いました。

・警察

- 1) 警察関係業務の向上発展を図ることを目的として設置している愛知県医師会警察部会において、警察行政への協力、警察関係の医事研究向上、災害時における検案協力医体制の構築に努めました。
- 2) 検視立会医に対し、検視医研修会を3月11日(土)に開催いたしました。愛知県警察本部刑事部捜査第一課検視官室長大友宏一氏より「愛知県における検視・検案について」、名古屋市立大学大学院医学系研究科法医学分野教授 青木康博先生より「大規模災害と法医学」と題してご講演いただき、54名の参加者がありました。

・勤務医

- 1) 勤務医の学術の向上、勤務環境の改善、福祉の増進、相互の連帯・親睦を図ること等を目的として勤務医部会を設置しており、隔月開催の勤務医部会幹事会において、働き方改革や新専門医制度、新型コロナウイルス感染症対策等、勤務医が関わる問題について検討いたしました。また、広報活動として、愛知医報の「勤務医部会だより」に、幹事会議事内容の報告や、幹事が交代で執筆したコラムを掲載いたしました。
- 2) 令和4年度に愛知県で開催する全国医師会勤務医部会連絡協議会のメインテーマ等を嘱託幹事会で協議いたしました。
- 3) 愛知県勤務医師生活協同組合と連携し、勤務医の福利厚生の上にも力を入れました。6月15日(水)に、愛知県勤務医師生活協同組合総会に先立ち、講演会が開催され、愛知県地域医療支援センターセンター長山本直人先生より「愛知県における、卒後研修と地域枠制度の現状」と題し、ご講演いただきました。
- 4) 10月15日(土)に令和4年度全国医師会勤務医部会連絡協議会をANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋にて開催し、196名参加いただきました。

・自殺対策

- 1) うつ病の早期発見・早期治療による一層の自殺対策の推進を図るため、厚生労働省「かかりつけ医等心の健康対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、以下のとおり研修会を開催いたしました。

11月27日(日) サイプレスガーデンホテル	参加者：22名
1月22日(日) ホテルアソシア豊橋	参加者：27名
2月26日(日) 名鉄グランドホテル	参加者：26名

2) アルコール依存症の早期発見・介入等を行い、一層のアルコール健康障害対策の推進を図るため、「かかりつけ医等アルコール依存症対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、医師、産業医を対象とした研修会を2月18日(土)に開催し、97名の参加者がありました。

・日医電子認証センター（日本医師会認証局）

医師資格証の受渡し業務として、本会にて51件実施いたしました。3月末日で愛知県内の登録者数は1,135名（内愛知県医師会非会員51名）です。

・日医かかりつけ医機能研修制度

- 1) 日医かかりつけ医機能研修制度令和4年度応用研修会（Web講習会）を8月7日(日)に愛知県医師会館9階大講堂にて開催し、51名の参加者がありました。
- 2) 本研修制度修了申請の受付を開始し、愛知県内では3月末日現在、191名の方が「日医かかりつけ医機能研修制度 認定証」を取得されております。なお、令和4年4月1日付で46名を認定し、修了証を交付いたしました。
- 3) 本研修制度を修了し認定証を交付された方を、地域のかかりつけ医として活動し、研鑽を続けている医師であると広く県民に示すため、本会ホームページへ認定者名簿を掲載しております。

(8) 救急医療・災害医療対策

・災害・救急医療対策

- 1) 愛知県医師会無線システム並びに愛知県広域災害・救急医療情報システム、災害時優先携帯電話、衛星携帯電話の運用訓練を6月7日(火)、7月5日(火)、8月2日(火)、9月6日(火)、10月4日(火)、11月1日(火)、12月7日(水)、2月1日(水)、3月7日(火)に行い、無線機等の使用方法の確認と災害を想定した訓練を行いました。
- 2) 6月19日(日)に愛知県医師会館にて医師、医療従事者、消防関係者対象の災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会を開催し、医師13名、医療関係者25名、消防関係者32名、その他4名の合計74名が参加しました。
- 3) 小児救急に関する研修会を以下のとおり開催いたしました。

7月27日(水) JPタワー名古屋	参加者：97名
12月14日(水) コートヤード・バイ・マリオット名古屋	参加者：57名
1月31日(火) ホテルグランドティアラ南名古屋	参加者：73名

4) いざという時のための実技講習会（救急蘇生法編・応急手当編）を以下のとおり開催い

たしました。

12月14日(水) コートヤード・バイ・マリOTT名古屋 参加者：35名

1月31日(火) ホテルグランドティアラ南名古屋 参加者：60名

- 5) 日本医師会、厚生労働省、総務省消防庁が作成した救急医療週間ポスター、CAB+Dカードの配付を行い、救急週間の啓発に努めました。また、9月9日(金)に愛知県医師会館にて愛知県救急医療推進大会を開催し、名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長福和伸夫先生より「温故知新と居安思危で災害医療を確保する」、愛知県医師会河村英徳理事より「愛知県広域災害・救急医療情報システムについて」をテーマに講演し、さらに、愛知県救急医療情報センターの見学ツアーを実施し、県民への救急医療に関する知識普及と医療関係者の意識の高揚を図り、延べ121名の参加者がありました。
- 6) 中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練が中止され、10月6日(木)に代替訓練に参加しました。10月27日(木)に県営名古屋空港消火救難総合訓練に、本会役職員の派遣、地区医師会から医療救護班を派遣いたしました。
- 7) 11月19日(土)に中部医師会連合令和4年度災害医療担当理事連絡協議会が開催され、各県におけるJMATの活動状況、自然災害等による被災状況の迅速把握および支援体制の構築について意見交換を行いました。
- 8) 「こどもの命を守るために 事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー」を保育園等に勤務している方を対象に以下のとおり開催し、修了証を交付いたしました。
 - 11月8日(火) ウィンクあいち 参加者：103名
 - 2月28日(火) 愛知県医師会館 参加者：60名
 - 3月14日(火) 愛知県医師会館 参加者：63名
- 9) 令和4年度愛知県災害医療コーディネーター研修を愛知県・愛知医科大学との共催により開催し、保健所・災害拠点病院関係・県下医師会など1月22日(日)32名、1月29日(日)に39名の参加がありました。
- 10) 11月6日(日)に愛知県医師会館にて医師を対象に愛知県医師会PTLS講習会を開催し、参加者15名に修了証を交付いたしました。
- 11) 2月12日(日)に名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターにて医師・看護師を対象に愛知県医師会ICLS研修会を開催し、28名の参加がありました。
- 12) 3月4日(土)に医師・医療従事者・消防職員等を対象に第39回救急医療・災害医療シンポジウム「心肺蘇生を望まない終末期患者への対応～人生の最終段階における医療・ケアに関するガイドラインを受けて～」をテーマに開催し、165名の参加がありました。
- 13) 3月12日(日)に開催された「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2023」に救護スタッフとして医師29名を推薦いたしました。

- 14) 災害時の安否確認を目的とした「AKKシステム（愛知県医師会緊急確認システム Safetylink24）」について、A会員を対象に登録促進を行いました。3月末時点で、2,943名にご登録いただいております。
- 15) 12月17日(土)に愛知県・豊川市総合防災訓練に参加し、応急救護所の開設・運営、遺体の身元確認等の検案作業を行いました。また、愛知県医師会救急医療情報センターの啓発、過去のJMAT活動に関する広報活動を行いました。

・救急医療情報システム

救急患者実態調査、休日診療所における救急患者実態調査、急性期脳卒中に関するアンケート調査、熱傷入院患者取扱実績報告における調査、急性心筋梗塞に関するアンケート調査を昨年引き続き、実施いたしました。

(9) 地域保健の向上

・産業保健

- 1) 産業医学振興財団の委託事業である産業医研修事業について、リフレッシュ研修、スキルアップ専門研修、スキルアップ実地研修を日本医師会認定産業医研修会として、産業医研修連絡協議会を本会産業保健部会幹事会として実施いたしました。また、地区医師会、関係団体等の行う日本医師会認定産業医研修会に共催いたしました。
- 2) 日本医師会認定産業医については、新規申請者122名及び更新申請者700名が認定を受けました。
- 3) 日本医師会産業保健委員会に委員として参加し、産業保健活動における制度改正等について、検討・協議いたしました。
- 4) 日本医師会が実施している「医師会主導による産業医紹介事業者を活用したモデル事業」の実施について検討をしており、会員に対して意向調査を実施し、希望者に対し説明会を開催いたしました。
- 5) 産業医の有害業務等を取り扱う職場巡視及びカウンセリング技術の向上のため、愛知県より受託した産業医活動支援研修事業に伴う産業医研修会を少人数のワークショップ形式にて5回実施いたしました。

・学校保健の推進

- 1) 愛知県教育委員会、愛知県学校保健会等の関係会議へ出席し、各種事項について検討・協議いたしました。また、愛知県学校保健会の行事に参加いたしました。
- 2) 学校医の報酬実態調査を行い、調査結果を踏まえ、学校医の報酬に関して愛知県知事に要望書を提出いたしました。
- 3) 学校保健部会幹事会・学校健診委員会において、学校医・園医報酬、県立高等学校並び

に県下小中学校の心電図精度管理等について、検討・協議いたしました。

- 4) 健診機関の使用する心電図問診票の改訂について検討するため、学校健診委員会小委員会を設置し、協議いたしました。
- 5) 6月20日(月)に学校医の先生方を始めとした医療関係者、養護教諭、三歳児健診関係者を対象に小児CKD(慢性腎臓病)対策講習会を愛知腎臓財団と共催にて開催し、36名の参加者がありました。
- 6) 7月10日(日)に心電図精度管理調査解析検討会を開催し、健診機関、教育委員会から提出された心電図に関し、学校健診委員会の委員を中心に解析を行いました。
- 7) 日本医師会学校保健委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討・協議いたしました。
- 8) 11月12日(土)に第53回全国学校保健・学校医大会が岩手県医師会の担当で開催され、本会からも出席いたしました。
- 9) 令和5年度県立高等学校学校医の取り纏めを行い、愛知県教育委員会へ学校医の推薦をいたしました。
- 10) 3月10日(金)に令和5年度定期健康診断における精度管理説明会を開催し、令和5年度に愛知県立学校の健診を実施する10の健診機関を対象に、愛知県立学校腎臓検診・心臓検診に対して学校健診委員会が行う精度管理について説明いたしました。
- 11) 1月14日(土)に第37回学校保健健診懇談会を開催し、69名の出席がありました。定例報告に続いて、特別講演として、「小児慢性腎臓病(小児CKD) -コホート研究で見えてきた実態-」と題し、北里大学医学部小児科学主任教授の石倉健司先生よりご講演いただきました。
- 12) 3月5日(日)に学校保健シンポジウムを開催し、72名の参加者がありました。また、特別講演として「学校現場での救急対応について ~外傷例を中心に~」と題し、名古屋掖済会病院副院長・救命救急センター長の北川喜己先生よりご講演いただきました。

・母体保護法指定医師の指定

- 1) 母体保護法指定医師審査委員会にて審査の上、20名の母体保護法指定医師を新規指定し、新規指定医師等に対しては、指導講習会を実施いたしました。3月末日における母体保護法指定医師は499名です。
- 2) 母体保護法指定医師に対し、母体保護法指定医師講習会(ゴールドカード講習会)を7月23日(土)、8月20日(土)に開催し、209名が受講されました。また、7月と8月の講習会に参加出来なかった7名を対象に9月28日(水)にゴールドカード講習会のビデオ講習会を開催いたしました。
- 3) 都道府県医師会に対しての「母体保護法指定医の指定等に関する調査」調査結果を踏ま

え、愛知県医師会母体保護法指定医師指定基準細則を改正し、令和4年11月1日より施行いたしました。

(10) 医療保険・介護保険の充実

(医療保険関連)

・社会保険

- 1) 社保指導委員会では、指導・監査に係る講評等を行うとともに、社会保険等の適切な運用に向けて協議・検討を行いました。
- 2) 保険診療の質的向上及び適正化を図るため、保険医療機関に対する指導監査の立会いを実施いたしました。
- 3) 9月24日(土)に中部医師会連合社会保険特別委員会が開催され、各県の新型コロナウイルス感染症による影響や、指導監査実施状況及び保険医療機関・保険医の指定取消状況、診療報酬改定における検討項目、オンライン資格確認システム義務化に対する問題点等について協議・報告、意見交換が行われました。
- 4) A会員（令和4年5月末現在）を対象に社保集団指導講習会並びに医療安全説明会を7回（10月12日(水)、11月9日(水)、11月23日(水・祝) 午前・午後、12月1日(木)、12月14日(水)、2月2日(木)）開催いたしました。
- 5) 令和5年4月よりオンライン資格確認システム導入が義務化となったことによる種々の関係文書を会員に周知し、県下医師会長等協議会や社保集団指導講習会並びに医療安全説明会等の場でも説明を行いました。

(介護保険関連)

・介護保険

- 1) 地域医療介護委員会では地域包括ケア、介護保険、高齢者福祉、障害者福祉等に係る関連事業の検討、各地域の諸問題に関する情報交換を行い、地区医師会及び行政との連携体制の強化を図りました。
- 2) 8月21日(日)、9月25日(日)に中部医師会連合地域包括ケア特別委員会が開催されました。今年度は地域包括ケア、重層的支援体制整備事業、介護報酬への要望、地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会について情報収集及び意見交換が行われました。
- 3) 県下各地区医師会を対象に、8月より「在宅医療の提供と医療・介護連携に関する実態調査」を行いました。
- 4) 12月18日(日)に保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム（テーマ：多職種でつむぐACP）を開催し、会場参加38名、Web参加98名、計136名の参加者がありました。

・認知症対策

- 1) 認知症地域医療研修検討委員会では、認知症の容態に応じた適切な医療の提供が可能となる支援体制を構築するための研修について検討いたしました。
- 2) 愛知県下で開業又は勤務する医師（名古屋市医師会を除く会員）に対し、かかりつけ医認知症対応力向上研修を開催し、7月9日(土)57名、7月23日(土)43名、計100名の参加者がありました。
- 3) 医療機関に勤務する医師、看護師、薬剤師、リハビリ職種を始めとした多職種の医療従事者を対象に、医療従事者の認知症対応力向上研修を開催し、8月27日(土)39名、9月17日(土)35名、10月15日(土)25名、計99名の参加がありました。なお、8月27日(土)はグループワークを中止し、座学のみでの研修として開催いたしました。
- 4) 認知症サポート医を対象に、12月17日(土)に認知症サポート医フォローアップ研修を開催し、57名の参加がありました。
- 5) 認知症対応病院実地指導の参加病院に対し、3月9日(木)に認知症対応病院実地指導活動報告会を開催し、38病院から72名の参加がありました。

(11) 医療安全対策の推進

・医療事故・医事紛争対策

- 1) 医療事故・医事紛争対策については、医療過誤の未然防止、医事紛争処理、医療賠償等の観点から、医療安全対策委員会において種々検討いたしました。さらに、実効性のある医事紛争解決と医療安全のあり方、医療事故調査制度について、医療安全対策小委員会で検討いたしました。
- 2) 令和4年11月5日(土)に愛西市で発生した新型コロナワクチン接種後に40代女性が死亡した事案について、公衆医療の向上および世間の注目を集めた社会性等を考慮し、迅速に対応するために医療安全対策委員会を11月15日(火)に開催し各専門分野や学識経験者の意見を聴取しました。11月17日(木)に記者会見を行い、検証結果を発表しました。
- 3) 日本医師会「医師賠償責任保険」の関係では、16件を日本医師会へ付託いたしました。また「日医医賠責特約保険」の加入者は、3月末日現在で1,932名になりました。
- 4) 医療事故調査制度相談窓口への相談・支援依頼は相談が6件、支援依頼が11件ありました。
- 5) 4月23日(土)、3月17日(金)に愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会を開催いたしました。愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会幹事会を9月2日(金)、1月20日(金)に開催し、医療事故調査制度に関する情報交換、支援団体の支援内容等について報告・協議いたしました。
- 6) 11月12日(土)にJPタワー名古屋において、医療事故調査制度における初期対応研修会を

開催いたしました。講師に藤田医科大学病院安全管理室室長の伊東昌広先生をお招きし、「実際の事例より学ぶ医療事故調査の初期対応について」と題しご講演いただき、126名の参加がありました。

- 7) 11月27日(日)にコートヤード・バイ・マリオット名古屋において、医療事故調査制度コーディネーター養成研修会を開催いたしました。医療事故発生時に診療所等の小規模医療機関または、事故調査が不慣れな医療機関から支援を求められた場合に、初動支援チームのメンバーとして対応できる事項を習得することを目的に、本会事務局担当者、救急医療情報センター職員、看護師を対象とし49名の参加がありました。参加者全員にコーディネーター認定証が贈呈されました。
 - 8) 12月10日(土)にミッドランドホールにおいて、令和4年度医療事故調査制度に関する研修会を開催いたしました。講師に一般社団法人日本医療安全調査機構常務理事の木村壯介先生をお招きし、「医療事故調査制度の現況～その成立から現在まで～」と題しご講演いただき、110名の参加がありました。
 - 9) 医療事故発生時に診療所等の小規模医療機関または、事故調査が不慣れな医療機関から支援を求められた場合に、初動支援チームを始めとする支援団体連絡協議会が支援を行うためのマニュアルについて10月31日(月)にマニュアル作成委員会、9月2日(金)、1月20日(金)に幹事会にて検討し、作成いたしました。
- ・医療安全支援センター（苦情相談センター）
- 1) 令和4年4月～令和5年3月の相談受付件数は新規・継続ケースを合わせて1,740件となりました。相談窓口業務及び対応を相談員（看護師、医療ソーシャルワーカー）が担い、医療に関わる専門的な対応については、担当理事及び医療安全支援センター（苦情相談センター）委員会の専門委員（医師）によって適切に行われました。
 - 2) 6月4日(土)に東別院ホールにおいて、令和4年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第1回講演会を開催いたしました。「薬にまつわる医療安全（患者安全）」をテーマに、名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部病院講師梅村朋氏にご講演いただき、195名の参加者がありました。
 - 3) 7月1日(金)に開催された令和4年度愛知県等医療安全支援センター担当者連絡会議に参加し、関係機関との情報交換を行いました。
 - 4) 7月9日(土)に東別院ホールにおいて、令和4年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第1回事例検討会を開催し、161名の参加者がありました。
 - 5) 9月6日(火)に愛知県三の丸庁舎で開催された令和4年度愛知県医療安全推進協議会に参加いたしました。
 - 6) 12月7日(水)に愛知県医師会館8階会議室において、令和4年度医療安全対策推進事業

県民のための医療安全講演会を開催いたしました。「薬の『はてな』、薬の『なるほど』」をテーマに、一般社団法人愛知県女性薬剤師会中村園子氏にご講演いただき、40名の参加者がありました。

- 7) 12月24日(土)に東別院ホールにおいて、令和4年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第2回事例検討会を開催し、112名の参加者がありました。
- 8) 2月18日(土)に名古屋市公会堂4階ホールにおいて、令和4年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第2回講演会を開催いたしました。「医療安全施策の動向」をテーマに、厚生労働省医政局地域医療計画課医療安全推進・医務指導室医療安全対策専門官栗原健先生にご講演いただき、147名の参加者がありました。
- 9) 『愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）事例検討会・講演会報告集2022』を作成し、会員始め関係機関へ配付いたしました。

・医療安全対策

9月3日(土)にミッドランドホールにおいて、医師・医療従事者向けの医療安全に関する講演会を開催いたしました。「医療現場の安全と応招義務」をテーマに、日本医師会会長松本吉郎先生、「応招義務～医政局長通知と医療の構造的変化」をテーマに、弁護士・一橋大学法科大学院客員教授児玉安司先生にご講演いただき、231名の参加者がありました。

・剖検システム

- 1) 医療安全対策の一環として運営している愛知県医師会剖検システムは、愛知県下四大病院の病理部門のご協力をいただき、順調な運営を続けております。
- 2) 2月16日(木)に名古屋東急ホテルにおいて、愛知県医師会剖検システム運営協議会を開催し、令和4年の運営状況（決算報告）、症例報告等を行いました。

(12) 医療施設の整備

・共同利用施設

11月6日(日)に都ホテル四日市（三重県）にて開催されました「令和4年度中部医師会連合共同利用施設連絡協議会」に参加し、「かかりつけ医のための医師会共同利用施設」をテーマに、中部各県の共同利用施設の現状や課題について報告、意見交換を行いました。共同施設委員会は、書面による開催とし、例年実施している各施設における現況調査の実施に加え、上記協議会の報告や令和5年度開催予定の「第30回全国医師会共同利用施設総会」について情報提供を行いました。

・臨床検査精度管理

県下における臨床検査施設の実態把握と精度向上を図る目的で、直送方式の精度管理調査（免疫学（血清学）・血液学・病理学・生化学・尿）を実施いたしました。また、2月13

日(月)に精度管理研修会を開催し、愛知医科大学中央臨床検査部教授の中山享之先生を講師に迎え、特別講演として「愛知医科大学中央臨床検査部の特徴：細胞療法と血液凝固異常症診療」をテーマにご講演いただき、68名の参加者がありました。

(13) 会員の福祉の向上

・労働保険事務組合

委託事業所数は72件（3月31日現在）であり、前年度から2件減少がありました。事務手続きは社会保険労務士事務所へ委託しており、手続き件数は取得65件、喪失66件でした。

・生命保険団体取扱い

生命保険団体取扱事務の現状は、生命保険会社7社と契約し、契約人数380名、契約件数558件であり、月掛取扱保険料は3,895万余円でした。〈別表6参照〉

・会員相談窓口

令和4年度の一般相談件数は321件あり、診療報酬に関する相談は97件でありました。相談の対応については、担当理事を始め、専門家の見解を得て、適切に行っております。

・事業概要等説明会

令和4年1月～令和4年12月入会の新入会員を対象として説明会を開催する予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、資料の送付をもって開催に代えさせていただきました。対象者は165名でした。

(14) 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動

(渉 外)

・中部医師会連合

中部医師会連合の事業年度は規約により、7月1日から翌年6月30日までの1年間であるため、令和4年4月～6月は前年度に引き続き福井県が、7月からは三重県が主務担当となりました。今年度は常任委員会12回（Web会議3回）が開催されました。社会保険特別委員会は1回（Web会議1回）、地域包括ケア特別委員会は2回、感染症特別対策委員会は1回（Web会議1回）開催されました。6月1日(水)、令和5年3月1日(水)に日医代議員協議会が開催されました。2月10日(金)に事務局長連絡協議会が開催されました。なお、8月19日(金)の開催は新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、中止となりました。

・関西医師会連合

今年度の主務担当県は京都府で、8月6日(土)に京都市において関西医師会連合常任委員会が開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、書面での開催となりました。次年度主務県は石川県になりました。

(IT化対策)

・ホームページ・IT化対策

- 1) ホームページ・IT化対策委員会において、情報セキュリティ研修会及びWeb会議システムを利用した出退管理を必要とする講習会等の配信（Web配信システム）について検討し、出退管理に用いる遠隔地出退管理システムの改修に関して協議を行いました。
- 2) Web会議システムについて、必要に応じて機器の更新を行うことで通信品質の改善に努めたほか、Web配信システム参加地区医師会を拡大するために必要なシステムの改修を行い、関連要領を整備して全ての地区医師会が参加できる体制を整えました。Web配信システムには3月末現在で24地区医師会が参加しています。
- 3) 5月26日(木)にWeb会議システムを用いて情報セキュリティ研修会を開催し、139名の参加がありました。また、本研修会動画を本会YouTubeチャンネルに公開いたしました。
- 4) 情報セキュリティ研修会の内容を充実させるため、地区医師会を対象としてサーバーの管理状況等に関する調査を実施いたしました。
- 5) 会員への情報提供を迅速に行うため、本会ホームページ及び愛医通信を運用し、内容の充実に努めました。
- 6) 日本医師会医療情報システム協議会運営委員会に委員として参加し、2月25日(土)から26日(日)にかけて開催された令和4年度日本医師会医療情報システム協議会のプログラムについて検討・協議いたしました。また、協議会では「サイバーセキュリティ」セッションにおいて座長を務めました。

(広 報)

・広 報

医師会活動等を報告する本会機関誌「愛知医報」を毎月2回（1日・15日）発行いたしました。掲載内容・構成については広報委員会において検討・決定いたしました。

(15) 医師・医療関係従事者対策

(勤務環境改善支援)

・医療勤務環境改善支援センター

- 1) 愛知県の医療勤務環境改善支援センター運営事業、愛知労働局の医療労務管理支援事業を受託いたしました。
- 2) 医療機関に対する労務管理支援として、医療従事者が健康で安心して働くことができる環境整備を目的に、個別支援業務延べ386件、相談対応業務延べ574件を行いました。
- 3) 当センターの活動内容、勤務環境改善に関する好事例の紹介、セミナー等の開催案内、働き方改革関連の最新情報等の情報提供を目的とした広報誌「いきサポ愛知」を隔月発

行いたしました。

- 4) 医師の働き方改革関連の情報や各種研修会のお知らせをより多くの方々にいち早く発信するため、医療関係者向けのメールマガジンを配信いたしました。
- 5) 改正労働基準法の内容を含む労働時間に関する制度の周知、理解促進を目的とした説明会を以下のとおり行いました。

医療機関に対する働き方改革セミナー

5月30日(月)	愛知県医師会館	参加者：90名
7月22日(金)	愛知県医師会館	参加者：84名
9月27日(火)	愛知県医師会館 (Web開催)	参加者：83名
11月24日(木)	愛知県医師会館 (Web開催)	参加者：94名
3月8日(水)	愛知県医師会館	参加者：77名

(医師確保対策事業の推進)

・医師確保

事務局内に愛知県医師会地域医療人材育成センター(ドクターバンク)窓口を開設し、医師の職業紹介事業を行っており、愛知県地域医療支援センターと連携して対応しております。愛知医報並びにホームページにてドクターバンクに登録のある求人医療機関の情報発信を行い、求職医師に最新情報を随時提供できるよう努めております。専従職員による、医療機関への訪問等、求人機関、求職者の希望に柔軟に対応いたしました。令和4年度の紹介件数は39件で、採用件数は11件でありました。

・男女共同参画

- 1) 近年、医療現場で働く女性医師数の増加が著しく、女性の活躍の場が増えている一方で、医師としてのキャリア形成と家事・育児との両立を始めとする数多くの問題があります。昨今の医師不足の中、これからも増加していくであろう女性医師や女子医学生の活用は必要不可欠なことを考え、多くの諸問題に注視し、共同参画の実現に向け、男女それぞれの役割等、広い視野を持って取り組みました。
- 2) 日本医師会男女共同参画委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討・協議いたしました。
- 3) 日本医師会女性医師支援センター事業運営委員会に委員として参加し、事業内容等について、検討・協議いたしました。
- 4) 1月25日(水)に安城更生病院にて、「医学生、若手医師と地域医療を考える会」を開催いたしました。講師に安城更生病院初期研修医の石木 舞先生、安城更生病院血液・腫瘍内科通院治療センター医長の澤ひとみ先生、愛知県地域医療支援センター前センター長の内海 眞先生をお招きし、「安城更生病院の2年間の研修を振り返る」・「チームで取

り組むワークライフバランス」・「地域医療を通して得た大きな収穫」と題しご講演をいただき、現地参加33名、ZOOMによるオンライン参加26名の合計59名の参加者がありました。

・若手医師対策

「令和4年度愛知県医師会研修医ウェルカムパーティ」は、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を中止いたしました。

・臨床研修医の入会促進

臨床研修指定病院へ訪問し、臨床研修医の入会について説明及び依頼する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、文書により依頼しました。3月末現在で670名（うち、新たに377名）の先生方にC会員としてご入会いただきました。

(医療従事者対策)

・医療従事者対策

- 1) 医療関連職検討委員会において、各看護学校より入学・卒業、准看護師資格取得状況等が報告され、問題点等を検討いたしました。また、愛知県下にて准看護師養成所の学生募集が円滑に行えるよう検討いたしました。
- 2) 医療事務員講習会を9、10、11月に開催し、全15日間、30講座を行いました。12月には資格認定試験を行い、45名が受験し全員合格いたしました。

〈医療秘書学院〉

- 1) 平成27年度よりあいちビジネス専門学校(全日制)「医療秘書科」へ運営を委託しており、令和元年度より同校「診療情報管理士科」へ追加委託をいたしました。令和4年度は医療秘書科50名、診療情報管理士科26名、合計76名が入学いたしました。
- 2) 11月1日(火)にあいちビジネス専門学校にて、第26回医療保険請求事務実技試験が行われ、80名が合格いたしました。
- 3) 2月5日(日)にあいちビジネス専門学校にて、第43回日本医師会医療秘書認定試験が行われ、68名が合格いたしました。
- 4) 医療秘書科52名、診療情報管理士科32名が医療秘書課程を修了しました。3月14日(火)にはあいちビジネス専門学校の卒業式が行われ、医療秘書科52名が卒業しました。

(16) 会務運営・総務・財務

・会館整備

- 1) 8月、2月に消防点検を実施し、非常放送や火災感知器等の消火設備の動作確認を行いました。また、定期点検も各法に基づいて適正に実施いたしました。
- 2) 8月に特定建築物の定期検査を実施し、特に指摘箇所はありませんでした。

・会館建設委員会

- 1) 4月25日(月)に第6回を開催し、4月14日(木)の第1回理事会において、現有地での建替えについて承認が得られたことを報告するとともに、建設にかかる事業費及び財源について説明を行いました。今後の進め方について、令和4年6月の代議員会で建替えの議案を上程することといたしました。
- 2) 9月1日(木)に第7回を開催し、これまでの会館建設小委員会の報告を行いました。また、指名プロポーザル方式による設計業者の選定を行い、株式会社日建設計を「愛知県医師会館建替設計監理業務委託」に係る受託事業者として理事会において承認するまでの経緯を報告いたしました。その後、各委員から建替えに対し、「機能性やランニングコスト」、「災害対策」等について意見・要望をいただきました。
- 3) 1月16日(月)に第8回を開催し、これまでの進捗状況、仮事務所、全体スケジュールについて報告いたしました。また、過去に日建設計で設計委託した三医師会(名古屋市、一宮市、岡崎市)からデザイン性よりも機能性を重要視した設計を望むとの意見を頂いたため、基本設計で西側の外装については、窓面に「Low-E複層ガラス」を採用するとともに、天井から床までの全面ガラスとせず、3階以上は一定の高さで腰壁を設け、西日を遮蔽する工夫を行うこととしました。

・会館建設小委員会

6月23日(木)開催の第9回理事会で愛知県医師会館建設委員会規程を改正し、会館建設小委員会の設置が認められ、今後の業務を円滑及び打ち合わせを頻繁に行うことといたしました。

- 1) 指名プロポーザル方式により設計業者を選定することとし、愛知県令和4・5年度入札参加資格者名簿の中から4社に絞り込み、審査の結果、株式会社日建設計を「愛知県医師会館建替設計監理業務委託」の受託業者とすることに決定いたしました。
- 2) 基本設計において、会館の執務室を始めとして、講堂、会議室、エレベーター等の配置、BCP計画、省エネ対策、西日の遮蔽対策等を協議いたしました。
- 3) 仮事務所先の配置、執務室を中心とした電話・電気設備(電話回線引込等)、衛生設備(ウォシュレット設置等)、空調設備(エアコン設置)等の設置並びに改修等を協議いたしました。
- 4) 令和4年2月にロシアがウクライナに軍事侵攻したことにより、ウクライナ情勢の悪化や急激な円安が進み、原油や鉄鉱石、石炭、銅など主要な原料価格が高騰し、その影響から建設資材価格等が大幅に上昇したことから建築コストの削減を図るため、日建設計からのVE提案のうち、駐車場については立体駐車場をとりやめ、すべて平面駐車場にすることといたしました。

・会館運営

日常における法定清掃を適正に行い、会館の維持管理に努めました。また、会館管理規程

に則り、適正な会館運営をいたしました。〈別表7参照〉

・定款諸規程

定款諸規程等検討委員会を書面にて開催し、日本女医会愛知県支部の名称変更に伴う公益社団法人愛知県医師会選挙規則の一部改正について協議し、承認されました。2月16日(木)開催の第33回(定例)理事会を経て第193回(臨時)代議員会へ上程し、承認され令和5年4月1日より施行となりました。

会 員 数 〈別表1〉

令和5年3月31日現在の本会会員数は10,595名で県下医師会別は下表の通りであります。

区 分	会 員 数
名古屋市	3,982
一宮市	725
瀬戸旭	264
半田市	156
春日井市	349
津島市	112
小牧市	133
東海市	110
岩倉市	48
東名古屋	246
西名古屋	182
尾北	292
稲沢市	134
海部	312
知多郡	311
豊橋市	507
岡崎市	487
豊川市	208
碧南市	55
刈谷	308
豊田加茂	539
蒲郡市	78
安城市	236
西尾市	118
北設楽郡	6
新城市	40
田原市	49
名古屋大学	144
名古屋市立大学	154
藤田医科大学	169
愛知医科大学	141
合 計	10,595

物故会員〈別表2〉

(令和4年4月～令和5年3月届出分)

氏名	年齢	地区	死亡年月日
落合正夫様	94歳	名古屋市	R3.3.24
小出直様	81歳	東名古屋	R4.2.16
端山忠夫様	93歳	豊橋市	R4.2.22
青木正次様	89歳	蒲郡市	R4.2.22
伊藤哲也様	68歳	名古屋市	R4.3.13
山田恵美子様	96歳	名古屋市	R4.3.20
吉川龍雄様	78歳	名古屋市	R4.3.21
安藤昭寛様	92歳	名古屋市	R4.3.28
石田松雄様	68歳	名古屋市	R4.3.28
三ツ口辰男様	93歳	尾北	R4.3.30
杉浦勲様	87歳	名古屋市	R4.4.3
近藤知己様	63歳	名古屋市	R4.4.4
藤田淳士様	88歳	名古屋市	R4.4.7
太田義治様	79歳	名古屋市	R4.4.7
原則之様	87歳	西名古屋	R4.4.11
近藤正信様	89歳	海部	R4.4.16
上野直樹様	66歳	名古屋市	R4.4.29
木村勝直様	95歳	名古屋市	R4.5.3
東浦亨子様	87歳	稲沢市	R4.5.4
柴田蔦子様	96歳	名古屋市	R4.5.5
佐井欽二様	92歳	名古屋市	R4.5.5
村山尚子様	95歳	名古屋市	R4.5.6
丹羽是様	95歳	名古屋市	R4.5.19
服部尚興様	85歳	瀬戸旭	R4.5.23
近藤純様	81歳	名古屋市	R4.5.24
安井一女様	93歳	名古屋市	R4.5.29
内田正様	90歳	豊田加茂	R4.5.29
山口勇様	94歳	名古屋市	R4.6.1
富田強哉様	95歳	名古屋市	R4.6.1

富安敏夫様	88歳	刈谷	R4.6.7
木村肇様	93歳	瀬戸旭	R4.6.8
小野眞孝様	94歳	半田市	R4.6.10
森孝治郎様	75歳	名古屋	R4.6.17
今泉健一様	98歳	名古屋	R4.6.25
安藤正英様	85歳	尾北	R4.6.30
井上義基様	64歳	春日井	R4.7.1
飯田初枝様	58歳	名古屋	R4.7.4
伴野常夫様	74歳	一宮	R4.7.5
高濱明利様	98歳	西尾	R4.7.7
河村和子様	95歳	名古屋	R4.7.8
豊田澄男様	74歳	豊川	R4.7.18
甲斐一成様	73歳	名古屋	R4.7.18
佐藤徹様	84歳	名古屋	R4.7.21
太田壽城様	75歳	名古屋	R4.7.21
家田浩男様	82歳	豊田加茂	R4.7.23
宇井多久美様	92歳	名古屋	R4.7.24
横井健様	91歳	豊橋	R4.7.30
服部君江様	93歳	名古屋	R4.8.12
小野雅之様	61歳	東名古屋	R4.8.13
中澤修様	93歳	岡崎	R4.8.18
長谷川進様	85歳	春日井	R4.9.1
丸井利軌様	87歳	一宮	R4.9.3
小高太郎様	98歳	一宮	R4.9.6
大久保清様	88歳	一宮	R4.9.6
宮地敏郎様	100歳	一宮	R4.9.12
佐藤和子様	94歳	名古屋	R4.9.13
角岡秀彦様	89歳	豊川	R4.9.13
日高恵一様	71歳	岡崎	R4.9.13
早川洋二様	95歳	名古屋	R4.9.20
鈴木寛路様	66歳	名古屋	R4.9.20
坪井弘光様	94歳	名古屋	R4.9.21

野々垣 尚彦様	91歳	一宮市	R4.9.21
間宮 敦様	86歳	名古屋市	R4.9.21
上村 憲司様	70歳	豊橋市	R4.9.23
中垣 ひで子様	94歳	名古屋市	R4.9.29
加納 武夫様	71歳	名古屋市	R4.9.29
山田 篤様	94歳	名古屋市	R4.10.1
中川 喬市様	92歳	名古屋市	R4.10.5
加茂 裕子様	102歳	名古屋市	R4.10.7
齋藤 久子様	92歳	西尾市	R4.10.7
西村 義孝様	91歳	蒲郡市	R4.10.18
森田 悟様	66歳	知多郡	R4.10.18
山本 綾子様	96歳	岡崎市	R4.10.24
水上 恭子様	94歳	一宮市	R4.10.24
野浪 一道様	77歳	知多郡	R4.10.31
上床 節子様	97歳	知多郡	R4.11.2
可世木 成明様	80歳	名古屋市	R4.11.5
近藤 九様	97歳	名古屋市	R4.11.6
前田 敏子様	71歳	名古屋市	R4.11.6
下郷 卓弥様	73歳	名古屋市	R4.11.16
丸上 善久様	70歳	刈谷	R4.11.21
杉浦 康治様	68歳	西尾市	R4.11.26
酒井 理一郎様	97歳	名古屋市	R4.12.1
近藤 銈造様	91歳	刈谷	R4.12.8
田中 良正様	91歳	名古屋市	R4.12.14
竹内 新治様	94歳	名古屋市	R4.12.15
加藤 紀生様	82歳	海部	R4.12.16
小嶋 一晃様	82歳	豊田加茂	R4.12.17
永井 侶之介様	86歳	名古屋市	R4.12.18
岸本 高比古様	74歳	岡崎市	R4.12.20
後藤 美善様	95歳	名古屋市	R4.12.25
白井 順三様	86歳	豊橋市	R4.12.31
菱田 仁士様	81歳	名古屋市	R4.12.31

神田三郎様	94歳	名古屋市	R5.1.2
石川富久様	74歳	岡崎市	R5.1.3
中島重哲様	73歳	一宮市	R5.1.3
酒井宏様	78歳	名古屋市	R5.1.6
木全敏夫様	86歳	豊橋市	R5.1.9
根木卓也様	90歳	名古屋市	R5.1.11
和田昌也様	91歳	名古屋市	R5.1.13
前田敏夫様	88歳	名古屋市	R5.1.13
植村邦宏様	85歳	名古屋市	R5.1.16
朝元勇様	90歳	名古屋市	R5.1.22
志賀修様	86歳	豊田加茂	R5.1.22
小林幹郎様	98歳	名古屋市	R5.2.1
杉山治茂様	73歳	一宮市	R5.2.2
高柳哲也様	89歳	名古屋市	R5.2.16
岡本健太郎様	30歳	東名古屋	R5.2.18
岸克彦様	66歳	名古屋市	R5.2.23
佐藤俊英様	79歳	春日井市	R5.2.24
小高太郎様	86歳	岩倉市	R5.3.7
小川正樹様	40歳	名古屋市立大学	R5.3.12

以上112名

日本医師会生涯教育講座〈別表3〉

【外科】	
日 時	令和4年8月18日(木) 14:00～15:00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県外科医会
座 長	愛知県外科医会副会長 松崎 安孝
演題1	肺癌に対する手術療法とロボット支援下内視鏡手術 ～基礎的事項から実際の臨床まで～
講 師	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院呼吸器外科部長 森 正一
参加者19名	

【内科】	
日 時	令和4年9月3日(土) 14:00～17:00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県内科医会
司 会	愛知県内科医会会長 安藤 忠夫
演題1	CKD診療の新展開：エビデンスを活かした実践的な治療
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学 特任准教授 安田 宜成
演題2	皆さんに知ってもらいたい低侵襲カテーテル心臓治療の最前線
講 師	名古屋・豊橋・岐阜ハートセンター循環器内科 山本 真功
演題3	これからの糖尿病治療～大血管障害克服のための経口血糖降下薬の使い方～
講 師	洪内科クリニック院長 洪 尚樹
参加者58名	

【眼科】	
日 時	令和4年9月10日(土) 15:00~18:00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県眼科医会
司 会	愛知県眼科医会理事 杉田 威一郎
演題1	緑内障治療のコツ ~緑内障診療ガイドライン第5版を踏まえて~
講 師	グレース眼科クリニック院長 内藤 知子
演題2	プレミアム硝子体開発update2022
講 師	岐阜大学大学院医学系研究科感覚運動医学講座眼科学分野教授 坂口 裕和
演題3	網膜疾患の診断・治療のイノベーション
講 師	名古屋市立大学大学院医学研究科視覚科学教授 安川 力
参加者89名	

【精神科】	
日 時	令4年10月6日(木) 14:00~15:30
会 場	愛知県医師会館 8階803~804会議室
共 催	愛知県精神科医会・愛知県精神科病院協会・愛知精神神経科診療所協会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 村瀬 聡美
演 題	プライマリー領域のパーソナリティ障害 —そのエビデンスと安全な臨床対応—
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野准教授 木村 宏之
参加者12名	

【耳鼻咽喉科】	
日時	令和4年10月15日(土) 16:00~18:00
会場	愛知県医師会館 9階大講堂
共催	愛知県耳鼻咽喉科医会
司会	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 浅田 貴康
座長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 星野 通隆
演題1	難治性中耳疾患の診断と治療
講師	福井大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科講師 岡本 昌之
座長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 浅田 貴康
演題2	医療用ブタを用いた移植・再生医療研究の最前線と倫理的課題
講師	鹿児島大学先端科学研究推進センター・ 生命科学動物実験ユニット・ユニット長 大動物研究推進部門・部門長准教授 佐原 寿史
参加者43名	

【皮膚科】	
日時	令和4年10月22日(土) 15:00~17:00
会場	愛知県医師会館 9階大講堂
共催	愛知県皮膚科医会
司会	愛知県皮膚科医会副会長 満間 照之
演題1	皮膚にできる腫瘍—外来での診断と治療にむけて—
講師	愛知医科大学医学部皮膚科学講座講師 岩下 宣彦
演題2	膠原病の皮膚病変と遺伝性角化症
講師	藤田医科大学医学部皮膚科学教授 杉浦 一充
参加者39名	

【小児科】	
日時	令和4年11月27日(日) 14:30~17:00
会場	愛知県医師会館 9階大講堂
共催	愛知県小児科医会
司会	愛知県小児科医会研修委員会委員 荻野 弘美
演題1	今だからこそ考えましょう！ 小児科医のスキルを活かした子どものメンタルヘルスケア
講師	国立成育医療研究センターこころの診療部児童・ 思春期リエゾン診療科診療部長 田中 恭子
演題2	機能的疼痛の病態と治療
講師	愛知医科大学医学部疼痛医学講座教授 牛田 享宏
参加者70名	

愛知県医師会健康教育講座〈別表4〉

回数	開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
931	5月12日	コロナ禍における骨粗鬆症治療 (動画配信のみ)	公立陶生病院 整形外科 リハビリテーション科 部 長 渡 邊 宣 之	
932	5月26日	前立腺がんに対する治療法 (動画配信のみ)	藤田医科大学 腎泌尿器外科 准教授 高 原 健	
933	6月30日	爪の悩みを解決しよう！身近な爪 変形の原因と対策 (動画配信のみ)	名古屋市立大学 加齢・環境皮膚科学 准教授 加 藤 裕 史	
※934	7月26日	市民健康教育講座「鼻、のどの疾 患について」	耳鼻咽喉科ふじうらクリニック 院 長 藤 浦 一 喜	50
935	7月27日	これって更年期なの？～40歳代か ら考える女性のトータルヘルスケ ア～ (動画配信のみ)	愛知医科大学 産婦人科 特任教授 篠 原 康 一	
936	8月24日	夏場の湿疹からアトピー性皮膚炎 まで、知っておきたい皮膚炎の治 し方	藤田医科大学ばんだね病院 総合アレルギー科 教 授 矢 上 晶 子	73
937	9月7日	心理学で考える幸福と健康	トヨタ自動車株式会社 主査／統括精神科医 奥 山 真 司	64
※938	9月11日	第8回豊橋市CKD市民公開講座 「CKDってなに？」「CKD予防 のための日常生活」「CKDと食 事について」	豊橋市民病院 腎臓内科 副部長 渡 邊 智 治 始め3名	100
※939	9月17日	大腸がんが増えています「大腸が ん早期発見を目指して ～体に優 しい大腸CT検査について～」	医療法人山下病院 理事長 服 部 昌 志	34
※940	10月1日	あなたの膵臓 詳しく検査してみ ませんか？	愛知医科大学病院 肝胆膵内科 講 師 井 上 匡 央	197
※941	10月22日	第2回豊橋ロコモ市民公開講座 「メタボリックと腹囲・ロコトレ 体操」	豊橋創造大学 保健医療学部理学療法学科 准教授 辻 村 尚 子	19
942	10月27日	夜尿症の話	愛知医科大学 腎臓・リウマチ膠原病内科／小児科 講 師 畔 柳 佳 幸	37
※943	11月12日	「豊田地域医療センター市民公開 講座」起こる前に備える災害対策 リハビリテーションの視点から	藤田学園最高顧問・相談役 藤田医科大学 教授 才 藤 栄 一	138

944	11月18日	知っておきたい「胃がん」のこと ～基礎知識から最近の話題まで～	トヨタ記念病院 副院長・外科 科部長 春木伸裕	52
※945	12月4日	第13回豊橋脳卒中市民講座 健康 教育講座	成田記念病院 脳神経外科 部長 畠山尚登 成田記念病院 腎・糖尿科 部長 百々修司	80
946	12月16日	災害医療について知っておいてほ しいこと	名古屋掖済会病院 副院長・救命救急センター長 北川喜己	55
947	1月30日	「見える」を大切に～高齢者に多 い目の病気～	名古屋市立大学大学院 医学研究科視覚科学 講師 加藤亜紀	65
948	2月3日	あなたの腎臓だいじょうぶ？腎臓 を元気に保つ生活と食事の秘訣	名古屋大学大学院 医学系研究科 病態内科学講座腎臓内科学 特任准教授 安田宜成	77
※949	2月4日	「骨から人生を豊かにする～骨粗 しょう症と向き合うポイント～」	蒲郡市民病院 整形外科 佐藤洋一	163
※950	2月25日	糖尿病と正しく上手く付き合いま しょう！	愛知医科大学 医学部 内科学講座(糖尿病内科) 教授 神谷英紀	110
951	3月9日	難聴をきたす疾患と新しい耳の手 術～経外耳道的内視鏡下耳科手術	藤田医科大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 臨床准教授 堀龍介	66
※952	3月12日	令和4年度一宮市医師会オンライ ン健康教育講座～HPVワクチンに ついてちゃんと知って考えよう～	みんなハピ！みんなで知ろう HPVプロジェクト代表/ 関東中央病院産婦人科 稲葉可奈子	101
※953	12月8日	長寿社会に備える血圧の管理 (動画配信のみ)	いそむらファミリークリニック 副院長 大野泰良	
※954	2月24日	がん検診について (動画配信のみ)	公益社団法人愛知県医師会 理事 西脇毅	

※印は地域開催

難病相談室取扱いケース内容〈別表5〉

ケース 数		神 経	耳 鼻	眼	膠原病	皮 膚	骨・関節	腎 臓	循環器	消化器
	新規ケース	212	26	38	94	48	47	18	16	58
	継続ケース	336	45	76	118	39	28	49	42	67
	計	548	71	114	212	87	75	67	58	125
	呼吸器	内分泌 及び代謝	脳外科	血液	小児	心身	血管外科	その他	合 計	
新規ケース	18	27	27	29	14	29	3	67	771	
継続ケース	21	88	54	72	33	46	3	12	1,129	
計	39	115	81	101	47	75	6	79	1,900	

取 扱 い 内 容	アセスメント（重複）	
	疾病の背景要因の発見	55
	治療や療養生活への適応	1,414
	家族との関係や家族の生活	130
	住居などの社会生活	92
	就労支援	294
	医療・生活などの経済面	295
	社会復帰への受入れと適応	122
	医療機関利用	294
	その他	34
	合 計	2,730
	主なケースワーク措置	
	応急的援助	1
	背景調査	5
相談面接	1,021	
関係調整	752	
制度利用	85	
施設利用	21	
グループワーク	6	
その他	9	
合 計	1,900	

新規 ケース 紹介者	医療機関	47
	保健所・保健センター	49
	福祉事務所	10
	その他公的機関	83
	本人又は家族	141
	広報・ポスター等	330
	新聞・ラジオ・テレビ	0
	その他	111
	合 計	771

生命保険団体取扱状況調〈別表6〉

(令和5年3月末現在)

会社名	契約人数	契約件数	月掛保険料
日本生命	112人	162件	18,236,028円
ジブラルタ生命	15	21	1,328,471
第一生命	60	108	5,326,358
朝日生命	23	37	1,441,891
明治安田生命	51	70	3,660,702
大樹生命	90	123	7,022,818
住友生命	29	37	1,935,207
合計	380	558	38,951,475

会館会議室等使用状況〈別表7〉

会 場 名		件 数
B 1	講 堂	7
4 F	理 事 会 議 室	51
5 F	501 会 議 室	68
6 F	601 会 議 室	54
6 F	研 修 室	101
7 F	情 報 セ ン タ ー 研 修 室	3
8 F	801 会 議 室	98
8 F	802 会 議 室	118
8 F	803 会 議 室	84
8 F	804 会 議 室	113
8 F	805 会 議 室	21
8 F	応 接 室	24
9 F	大 講 堂	124
合 計		866

決 議

政府の長年にわたる医療費抑制策は、医療機関の経営基盤を脆弱化させてきた。そこに新型コロナウイルス感染症が追い打ちをかけ、医業収支率は大きく悪化し、特に民間病院や診療所は補助金や借入金なしでは存続すら叶わない状況に追い込まれている。この厳しい経営環境を改善する策を講ずるべきである。

さらに、政府は、長引くコロナ禍で疲弊する医療従事者の賃金引上げをわずかな診療報酬の増額で対応するよう迫っている。しかし、診療報酬は、超高齢社会に伴う医療従事者数の増加や医療の高度化による経費の上昇さえも賄っていない。医療従事者の処遇改善は別建ての財源を確保すべきである。

また、政府は、新型コロナウイルス蔓延に乘じ、効率化や患者の利便性を大義名分として、オンライン診療の拡大や、医療費削減ありきのリフィル処方箋を拙速に導入した。患者から対面診療の機会を奪うこれらの施策は、医療の質の低下に直結する。国民へ安心・安全な医療を提供するため、今後の運用は、見直しも含めて医療現場の関係者との十分な議論の上で慎重かつ丁寧に進めていくべきである。

以上より、我々は国民の健康と医療制度を守るため、下記の如く決議する。

記

- 一、地域医療を支えている医療機関の厳しい経営環境を改善する策を講ぜよ。
- 一、医療従事者の処遇改善のため、診療報酬とは別建てで財源を確保せよ。
- 一、オンライン診療やリフィル処方箋の運用は十分に議論し丁寧に進めよ。

令和4年6月11日

愛知県医師会第192回（定例）代議員会